

治水改修 10年76億円

袋井市議会 市長が計画報告

袋井市の大場規之市長は28日の市議会2月定例会一般質問で、市長は「2021年度からの

10年間で取り組む治水施設の整備方針「袋井市かわプログラム」について、改修計画が定めている事業で約76億円の施設整備を予定していると報告した。

大庭通嘉氏（市民クラブ）への答弁。

主要事業として同市

高尾の柳原雨水ポンプ

場の整備、河川、排水路

計2・5kmの改修など

が決まっている。市

洋館は一九一六年、病棟は

三四年に建設。九九年に市

文化財に指定され建物が市

に寄付された。二〇〇一年に記念館として開館した。

の実質負担額は国の交付金や県の補助金などを活用し、約33億円と見込んでいる。大場市長は「計画的な事業の推進に向けて予算確保に努めていく」とした。

澤野医院記念館VR化

袋井市、きょうからHP公開

袋井市議会は二十八日、二月定例会の本会議で一般質問を行った。市側は答弁の中で、市指定文化財の澤野医院記念館（川井）を仮想現実（VR）で紹介することを明らかにした。

市の文化財のVR化は初めて。市ホームページで一日から公開する。現在、建

物の安全面などから病棟と居宅部分のみを資料館として一般公開しているが、VR化で非公開の洋館内部も見ることができる。

鈴木一吉教育長は「どう

にいても、その場にいるかのように館内の様子を見る

ことが可能になるので、記念館の魅力を発信し、来館

者の増加、小学校などでの

郷土学習の充実につなげていきたい」と述べた。

澤野医院は江戸時代中期の古文書に内科医として名前が記されており、代々地域医療を担ってきた。居宅は安政元（一八五四）年の大地震の翌年に再建され、洋館は一九一六年、病棟は三四年に建設。九九年に市文化財に指定され建物が市に記念館として開館した。

大庭通嘉（市民クラブ）